

## 【九州大学大学院医学系学府保健学専攻の概要】

この度は、九州大学大学院医学系学府保健学専攻の修士課程および博士後期課程の入試説明会サイトをご覧いただき有り難うございます。

本保健学専攻には修士課程（すなわち博士前期課程）と博士後期課程があり、保健・医療・福祉に求められる多様な問題に対応するため、保健学領域の学問体系を確立するとともに、新たな知的資源を創出し、その成果を国内のみならず国際社会に広く還元することを基本理念としています。

修士課程では、保健学における創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する教育者・研究者の養成、及び保健学分野における研究マインドをもった実践的指導者や組織リーダーを養成します。具体的には、「豊かな人間性を備えた人材」、「高度化する医療に対応できる人材」、「全人的チーム医療に対応する人材」、「高齢社会の医療に対する人材」、「医療の情報化に対応する人」、「教育・研究者へと発展可能な人材」、「国際医療の場で活躍できる人材」といった資質を持つ人材を養成します。

2007年（平成19年）4月に1期生を迎え入れ、2011年（平成23年）10月には国際コースとしてアジア保健学コースを、2015年（平成27年）4月には助産学コースを設置しました。

修士課程の定員は、看護学分野、医用量子線科学分野、検査技術科学分野及びアジア保健学コースを合わせて20名、助産学コースが7名で、合計27名です。これまでに404名の修了者を輩出し、現在は71名（うち社会人8名、留学生5名）が在籍しています。

博士後期課程では、保健学領域における豊かな学識の滋養を基盤としつつ、自立した研究活動を行う能力を持つ教育者・研究者、看護・医療技術領域における実践能力と高い教育・研究能力を併せ持つ人材を養成します。

2009年（平成21年）4月に設置した博士後期課程には、医療技術系教育者・研究者養成コース（主に診療放射線技師や臨床検査技師が対象）と看護学教育者・研究者養成コース（主に看護師が対象）及び保健学国際コースがあり、定員は合わせて10名です。これまでに97名の修了者を輩出し、現在は37名（うち社会人30名、留学生1名）が在籍しています。

基本的に、修士課程の標準修業年限は2年、博士後期課程は3年ですが、本学では社会人等を対象とした長期履修制度（修士課程は3年間、博士後期課程は4年間）を設けています。

修士課程修了者では、修士（保健学）または修士（看護学）、博士後期課程修了者では、博士（保健学）または博士（看護学）の学位が授与されます。

くわしくは募集要項をご覧ください。